

資料No. 4

江田島市公共交通協議会
令和4年6月21日

江田島市地域公共交通網形成計画の成果検証について

1 概要

令和3年度は交通計画の空白期間となるため、前計画となる江田島市地域公共交通網形成計画（H28～R2年度）の評価指標により、事業の成果検証をしました。

2 各評価指標の達成状況

別紙1を参照

計画の取組状況及び評価指標の達成状況 (H28~R3年度末)

別紙

目標	事業名	具体的な実施状況	評価指標	評価指標の推移							現状 (合計)	目標値	達成状況	目標未達成の場合の理由、問題点・課題等
				策定時 (H26)	H28 年度末	H29 年度末	H30 年度末	R元 年度末	R2 年度末	R3 年度末				
(1) まちづくりと連携した効果的・効率的な公共交通体系の構築														
目標① 最適な公共交通ネットワークの構築	①海上交通と陸上交通の連携強化	○航路事業者と江田島バス線の乗換改善に向けた見直しを継続 (H28) ○中町航路のダイヤ改正の際、航路接続に配慮したバスダイヤを編成 (R2~)	航路利用者の前年比減少率 (%)	▲4.2%	▲2.8%	▲3.5%	1.60%	▲7.0%	▲20.1%	▲5.3%	▲5.3%	▲3.5%以下	×	○R元年度以降は、人口減少やコロナ禍の影響により、目標値を達成できなかった。 ○陸上交通と海上交通の連携を強化し、利用しやすい情報提供や利用促進策を実施しながら、利用者の確保に努めます。
	②路線バス(幹線・支線)系統やダイヤの見直し	○中町大柿線の高田延伸 (H29~) ○路線バスの現状分析 (H30~)	路線バスの年間利用者数 (万人)	70万人	48万人	47万人	47万人	49万人	44万人	43万人	43万人	70万人以上	×	○利用者数は、40~50万人で推移しており、目標値を達成できなかった。 ○利用環境の整備や需要喚起策を実施しつつ、航路接続や移動ニーズを踏まえたバス路線網の再編を行うことにより、利用者の確保に努めます。
	③おれんじ号の利便性向上	○船との接続や利用者ニーズに基づくダイヤ改正を実施(乗降場所の追加や経路変更を含む。) (H29~)	おれんじ号運行見直し基準(稼働率)の目標を達成した系統の割合 (%)	50% (2/4 系統)	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	75% (3/4系統)以上	×
目標② 交通結節点における機能の向上	①乗換環境の充実	○バスロケシステムの導入 (H28~) ○結節点(港、バスターミナル)にデジタルサイネージを設置 (H28~) ○江田島バス(株)の営業所移転 (R1~)	乗換改善策の実施件数 (件)	-	2件	0件	0件	1件	0件	0件	3件	2件	○	
(2) 公共交通の安心感と利便性を高める利用環境の整備														
目標③ 利用環境の改善による利便性等の向上	①運賃負担の軽減策の検討	○通学定期代補助制度の創設 (H29~) ○路線バスに交通系ICカード(PASPY)を導入 (R1~)	負担軽減策の実施件数 (件)	-	0件	1件	0件	1件	0件	0件	2件	2件	○	
	②ICカードの導入	○航路事業者との勉強会 (H28・R1) ○航路発券機のICカード対応化 (R2~) ○一部航路船内に無料Wi-Fiを導入 (R2~) ○(再)路線バスに交通系ICカード(PASPY)を導入 (R1~)												
	③バリアフリー化の推進	○おれんじ号にバリアフリー車両を導入 (H28~) ○路線バス車両の更新 (H29:2台, R1:3台, R3:1台)	バリアフリー車両の導入率 (%)	53.3% (8台/15台)	53.3%	66.6% (10台/15台)	66.6%	66.6% (13台/15台)	86.6%	93.3% (14台/15台)	93.3%	80.0%以上	○	
	④わかりやすい公共交通情報の提供	○公共交通マップの作成 (H28~) ○(再)バスロケシステムの導入 (H28~) ○(再)結節点(港、バスターミナル)にデジタルサイネージを設置 (H28~) ○バス停名称の変更 (H28~) ○江田島バスHPの開設 (R1~)	情報提供資機材の整備件数 (件)	-	3件	1件	0件	1件	0件	0件	5件	2件	○	
目標④ 観光の強化による利用者の増加	①公共交通を活用した観光ルートの開発	○市HPに公共交通を利用した観光ルート掲載 (H28~) ○瀬戸内海クルーズ船の旅行商品を市FBでPR (R1~) ○江田島バスHPでバスを利用した観光ルート掲載 (R2~)	年間総観光客数 (万人)	54万人	54万人	63万人	63万人	52万人	26万人	32万人	32万人	70万人	×	○令和2年度以降、コロナ禍の影響に伴う、観光客数の激減により、目標値を達成できなかった。 ○引き続き、関係機関が実施するイベントとの連携や需要喚起イベントを実施しつつ、市内観光を意識したバス路線網の再編を行う。
	②観光客に向けた情報発信力の強化	○Google路線検索への対応 (R1~) ○路線バスの24時間乗車券(MOBIKY)を販売開始 (R2~) ○市内航路を利用したスタンプラリーを開催 (R2~) ○(再)瀬戸内海クルーズ船の旅行商品を市FBでPR (R1~)												
(3) 地域との協働による公共交通の確保・維持・改善														
目標⑤ 地域で公共交通を支えるための意識の醸成	①公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催	○市広報誌で啓発記事の連載 (H28~) ○おれんじ号のダイヤ改正に伴う出前講座や地元自治会との調整を適宜実施 (H28~) ○自治会主体のバスの乗り方教室を開催 (H30~)	意見交換会の開催回数 (回)	年間2回	3回	3回	2回	1回	0回	1回	延べ10回	延べ10回以上	○	
		○路線バス等の運賃が無料となる「おでかけ無料乗車day」を実施 (R3~)	地域が主体となった取組の件 (件)	-	0件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	2件	2件	○